

除草のお役立ち情報誌

ザクサクラブ

**ツユクサって、
梅雨に咲くから
ツユクサなの？**

非選択性茎葉処理除草剤

ザクサ
液剤

頑固な
露草に!!

2013 vol. **1**

梅雨時期の 問題雑草ツユクサをしっかりと防除!!

「梅雨時期はなかなか除草作業もできず、晴れた日に農作業をしようとしても、すでに雑草だらけで、作業がはかどらない。」という事をよく伺います。

そんな梅雨時期に問題となるのがツユクサです。梅雨時期から青い花を咲かせるのでツユクサと名付けられたという説、朝咲いた花が昼にはしぼんでしまうことから、はかない「露」に例えて名付けられたという説もあります。そんなはかない青い花も、実は問題雑草で、防除が欠かせません。

ザクサは薬剤散布後、一時間後の雨でもしっかりと効果を発揮します。梅雨時期もザクサでしっかり防除をしましょう。

防除の ポイント

- ザクサ100～200倍液を株全体にしっかりと散布しましょう。
- 草丈が高くない早い時期の散布がより効果的です。
- 土壌処理型除草剤との混用散布が効果的です。

■ ツユクサ(ザクサ200倍での除草効果)



● ツユクサ

ツユクサ科の一年生雑草で、畑地、樹園地、道端などに生育している夏の強害雑草です。茎の高さは30～70cmほどになり、根ざわで分枝し、横にはい節から根を出します。広披針形の葉は2列に交互につき、上面は緑色で裏面は淡緑色です。6～9月に茎の先に青色の花をつけます。

ツユクサと同じツユクサ科のマルバツユクサは、近年問題となっている雑草です。マルバツユクサは地中の枝に閉鎖花をつけ、地下にも種子を作り出芽します。毎年の防除が必要になります。



水田畦畔でも 安心して使用できます!!

ザクサ液剤は、雑草の根まで完全に枯らさないため、水田畦畔を崩さずに除草ができ、手刈り作業に比べ除草作業を大幅に短縮できます。しっかりと水田畦畔を管理し、問題雑草の水田への侵入害も防ぎましょう。

万が一、田面水に落ちたとしても多量の田面水によって希釈されるため、イネへの影響はありません。イネ自身に飛散した場合は葉害が生じるのでキリナシノズルや飛散防止カバーを使用して、イネにかからないように注意しましょう。



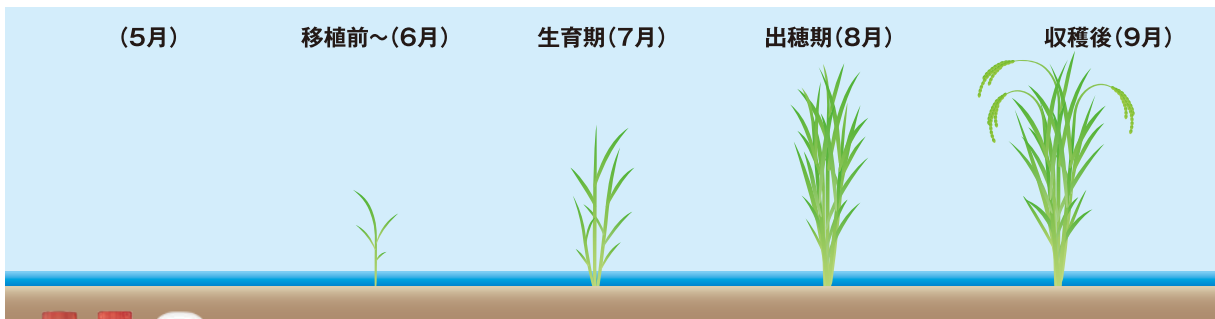
散布前



散布後

カメムシ対策にも

水田畦畔の雑草は、斑点米の原因となるカメムシの生息源です。カメムシの生息源をなくし、斑点米被害を抑えましょう。



効果的にカメムシを防除するために
ザクサ液剤を散布しましょう。

※イネが出穂する直前の除草は、水田への侵入を助長します。
除草は、出穂の約2週間前(10~15日前)に終わらせましょう。

畦畔・雑草地で増殖

水田内に侵入・加害

ザクサノズルを使って 確実・ムラなく除草!!

- ザクサノズルをお使いいただくと飛散が少なく、より効果的に散布できます。
- 散布後が白く見えるため、散布ムラを防げます。



私もザクサ液剤を使っています!

東京都八丈島 田中義八さん(85歳)

今の季節は主にトマト、ナス、きゅうりを収穫中です。

収穫した作物は、JA三根支店をはじめ公的施設や町の給食センターなどに出荷。

こうした地産地消を通して、島の子どもが「おいしい!」と笑顔を見せてくれるのを励みに日々頑張っています。



取材
協力

JA東京島しょ農協 三根支店

〒100-1511 八丈町三根1767-2
TEL 04996-2-0263 (平日8:30~17:00 土曜8:30~12:00)

